

障害のある方々のエンパワーメントと自立生活に対する支援の改善に
関する国際セミナー開講式挨拶（仮訳）

2026年3月3日

JICA コスタリカ

所長 吉田憲

パオラ・ロリア・エレラ、地域開発局長、CONAPDIS 事務局長代理；

アマリア・マランツィーニ、ドミニカ共和国駐コスタリカ大使；

アナ・ビクトリア・ロセロ、エクアドル大使館駐コスタリカ領事；

エミリオ・ジャネス チリ大使館駐コスタリカ領事；

フアン・カルロス・フォンセカ、MIDEPLAN 三角協力部長；

廉田俊二氏 日本メインストリーム協会会長；

ポーラ・アリアス氏 CONAPDIS ブルンカ地域事務所長；

マリア・エウヘニア・サラス氏 CONAPDIS 個人自立・社会保護部門
長；

フアン・パブロ・サボリオ氏 CONAPDIS 国際問題部長；

自立生活センターおよび国内機関の代表者の皆様

チリ、ペルー、ドミニカ共和国からこのセミナーに参加されている皆様

CONAPDIS の職員、そしてご出席の皆様

おはようございます

障害のある方々のエンパワーメントと自立生活に対する支援の改善に関するこの国際セミナーの開会にあたり、ご挨拶申し上げます。

まず、本セミナーを主催した CONAPDIS の学術・管理チームに感謝と祝意を表します。同時に、本セミナーにご参加いただいた国内外の参加者の皆様のご関心とご尽力に心よりお礼申し上げます。

CONAPDIS と JICA は、2023 年から 2025 年までの 3 年間にわたり、[「障害者のエンパワーメントと自立生活への国家支援の改善」](#)に関する 3 回の国別研修を共同で実施しています。本セミナーは、参加各国の帰国研修生による行動計画において、障害者の自立と自立生活支援に焦点を当て、具体的な成果と著しい進展を共有するための記念イベントとして開催されます。

CONAPDIS は、コスタリカにおける障害分野の統括機関であり、1979 年より障害者支援において我々のパートナーとなっています。特に、技術協力プロジェクト「[カロイプロジェクト \(2007-2012\)](#)」の実施以来、障害者支援の社会モデルへのパラダイムシフトを実現してきました。この変化は、障害者のエンパワーメントと、市民としての権利の履行を求める政治的な働きかけによって、最も大きな変革の始まりを迎え、障害のある人々の生活の質の向上を目指しています。

本セミナーの特別ゲストとして、[日本メインストリーム協会](#)の会長である廉田俊二氏をご紹介したいと思います。廉田氏は、2008年に初めてコスタリカを訪問し、カロイプロジェクトを通じてコスタリカが申請した「障害者の自立生活」という日本での研修コースの評価を行いました。その際、廉田氏はコスタリカで自立生活に関する複数のセミナーを開催しました。これがコスタリカにおける自立生活運動の始まりとなりました。日本での6年間にわたるこの講座の実施を通じて、メインストリーム協会はラテンアメリカ・カリブ諸国における障害者のエンパワーメントと自立生活運動の発展に貢献してきました。

本セミナーが、主要関係者の結束とさらなる参加を促す地域的な節目となることを願っています。これにより、参加国におけるベストプラクティスの再現、自立生活運動の推進、そしてラテンアメリカ・カリブ海地域全体への地域的成果の普及が可能となるでしょう。

私たちは、各国の障害者の自立生活を推進するすべての人々を結びつけ、包括的で公平なラテンアメリカを創り上げるという大きなビジョンを実現するために協力していきます。

ご清聴ありがとうございました。

ご参考

[2025 年度在外所長表彰 受賞者紹介 ウェンディ・パトリシア・バラントス・ヒメネス氏 | 海外での取り組み - JICA](#)

[コスタリカにおける「自立生活革命」 | 海外での取り組み - JICA](#)